

# 「ものづくり日本語検定」紹介記事 2018年5月29日発行 「NNA ASIA」台湾版

▶ 保存 印刷

2018/05/29 (火)

## ものづくり日本語検定、台北で説明会開催

一般社団法人ものづくり日本語検定協会は28日、台北市内でものづくり日本語検定（MNK）の説明会とデモンストレーションを開催した。海外で同様のイベントをするのは初めて。日系メーカーの人事担当者や日本語教師など約30人が参加した。同協会の井戸田勲・事務局長は、「この検定はものづくりを教えるのが主な目的で、日本語はそのための手段。まずは日本への親和性が高い台湾で普及させたい」と力を込めた。

MNKはeラーニング講座と検定で構成される。eラーニング講座はMNKのウェブサイトで配信される動画で24時間いつでも受講することができ、検定はパソコンのほかスマートフォンでも受験できるなど比較的容易に挑戦できるのが特徴。一般社団法人日本技術者連盟の小野郁・主任研究員は、「MNKは、ものづくり現場における日本語コミュニケーション能力を高めるための検定で、生産現場と日本語のそれぞれの専門家が結集して生まれた」と説明する。

2017年からトライアルでの検定を開始し、現時点ではものづくりの最低限必要な知識を有する段階の「ファンダメンタル」レベルの読解試験を提供している。今秋には現場での実践や、指導、経営の理解ができる「アドバンスド」レベルの検定も始める予定。

井戸田事務局長は、海外では日本のものづくりの技術や考え方の伝播が求められており、特にそういった技術を有する中小企業の進出にも期待していると強調。「MNKを人材育成に利用し、ものづくりの考え方を普及させてほしい。さらには日台でタッグを組んで中国での普及も図りたい」と語った。



※この記事は、アジア経済ビジネス情報を発信するNNA（株式会社エヌ・エヌ・エー）の許可を得て掲載しています。

記事URL ■ <https://www.nna.jp/news/show/1768315>



## 【社会】

## ものづくり日本語検定 6月にスタート

海外の日系企業で働く外国人などが、仕事に必要な日本語コミュニケーション能力を高め、日本的ものづくりの考え方への理解を深めるためのオンライン教育訓練システム、「ものづくり日本語検定(MNK)」(<http://monoken.org>)が6月から本格的にスタートするのを前に、台北市で29日説明会が行われ



説明会には日系企業の関係者や大学の日本語教師ら30人が参加した  
(ものづくり日本語検定協会提供)


た。海外での説明会実施は初めて。


MNKは、外国人が日本のものづくり技術を習得する上で、日本語と日本文化を理解し、日本語を通じて学んだ方が効果が大いとの考えに基づいて、一般社団法人ものづくり日本語検定協会が昨年秋からトライアルベースで実施しているもので、今月までに数百人が検定試験を受験した。

MNKは講座と検定試験から成り、「良いものづくりのための品質管理」「品質管理活動に関する基礎知識」などの講座をインターネットを通じて受講。検定試験によって「係長、テクニシャンレベル」「管理者、マネージャーレベル」など、ものづくりの現場での日本語能力の判定を受けられる。講座の受講料は無料で、検定試験の1回当たりの受験料は企業の従業員が5,000円、学生は2,500円だ。



MNKのトライアル受験者は、台湾からが33%と世界で最も多かった。これについて一般社団法人日本

技術者連盟の小野郁・主任研究員は「親日的で日本の製造業者が多く進出しており、ものづくりの考え方を学んでほしいという日系企業のニーズが最も強いのではないか」と分析し、今後の受講者の拡大に期待感を示した。

 **台湾でがんばる日本人経営者の応援団**

 実務経験2～5年台湾人社員向け

## 中堅社員研修

「指示待ち型社員」を  →   
「自立型社員」に変える!

単元	日程	テーマ
1	6/28 (木)	自己分析と気づきによる セルフコーチング自己改革
2	7/19 (木)	相手に簡潔に伝える コミュニケーションのとり方
3	8/16 (木)	役立つ提案をするための アイデア発想法
4	9/6 (木)	時間を今より効果的に 使うための タイムマネジメント

詳細はこちら  
<https://www.ys-consulting.com.tw/seminar/76083.html>